

福生市議会だより

FUSSA

No.208
 発行 福生市議会
 平成29年10月25日
 〒197-8501 福生市本町5番地
 ☎042(551)1511(代表)
 ☎042(551)1523(ダイヤルイン)

平成29年
 第3回定例会

平成28年度各会計決算を認定
 新公会計制度による財務諸表などを活用して審査



▲地域の伝統及び文化への理解を促進する取り組みをPRするオリジナルグラス、テーブルテント(左)及びポスター(右)

平成29年第3回定例会は、9月5日から9月28日まで会期24日間で開催され、14名の議員による一般質問が行われました。

また、市長提出議案14件、諮問1件、陳情1件が審議され、新たに陳情1件が提出されました。

本会議の経過

▼1日目(9月5日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を24日間と決定しました。

▼2日目(9月6日)は、5名の議員が一般質問を行いました。

▼3日目(9月7日)は、4名の議員が一般質問を行い、14名の議員の一般質問が終了しました。

▼4日目(9月8日)は、市長提出議案及び陳情については、所管の委員会に付託されました。

▼5日目(9月28日)は、最終日で、委員会へ付託された議案11件は、可決・認定され、新たに提出された議案3件は、慎重審議の結果、即決で同意されました。また、諮問1件は、異議ない旨答申することに決定しました。なお、開会前に提出された陳情1件は採択され、新たに提出された陳情1件については所管の委員会に付託した後、継続審査とし、今定例会を終了しました。

「議会日誌」

28日	27日	25日	24日	20日	19日	18日	14日	13日	12日	11日	10日	3日
西多摩地域広域行政圏審議会	合議会全員協議会、臨時会	例月出納検査 東京たま広域資源循環組合議会	瑞穂斎場組合議会臨時会 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会 圏央道を促進する議員ネットワーク解散総会	瑞穂斎場組合議会臨時会 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会 圏央道を促進する議員ネットワーク解散総会	西多摩地区議長会定例会 議会運営委員会	横田基地対策特別委員会 愛媛県西予市視察来市	東京都後期高齢者医療広域連合議会臨時会に係る議案説明会	全国市議会議長会基地協議会関東部会正副会長・監事・相談役会議、意見交換会	全国市議会議長会基地協議会基地関係国会議員との情報連絡会、概算要求前要望活動 三重県いなべ市視察来市	福生病院組合議会総会、臨時会、全員協議会、臨時会	西多摩衛生組合議会議員総会、臨時会、全員協議会	八高線八王子・高麗川間複線化促進協議会総会及び要望行動
29日	28日	26日	25日	22日	21日	20日	12日	8日	7日	6日	5日	31日
例月出納検査 議会運営委員会	第3回定例会5日目 全員協議会	第3回定例会5日目 全員協議会	第3回定例会5日目 全員協議会	建設環境委員会 市民厚生委員会 総務文教委員会 横田基地対策特別委員会 まちの魅力づくり対策特別委員会	建設環境委員会 市民厚生委員会 総務文教委員会 横田基地対策特別委員会 まちの魅力づくり対策特別委員会	決算審査特別委員会(15日まで)	第3回定例会1日目 議会運営委員会 第3回定例会2日目 議会運営委員会 第3回定例会3日目 議会運営委員会 第3回定例会4日目 決算審査特別委員会 全員協議会 まちの魅力づくり対策特別委員会	第3回定例会1日目 議会運営委員会 第3回定例会2日目 議会運営委員会 第3回定例会3日目 議会運営委員会 第3回定例会4日目 決算審査特別委員会 全員協議会 まちの魅力づくり対策特別委員会	第3回定例会1日目 議会運営委員会 第3回定例会2日目 議会運営委員会 第3回定例会3日目 議会運営委員会 第3回定例会4日目 決算審査特別委員会 全員協議会 まちの魅力づくり対策特別委員会	第3回定例会1日目 議会運営委員会 第3回定例会2日目 議会運営委員会 第3回定例会3日目 議会運営委員会 第3回定例会4日目 決算審査特別委員会 全員協議会 まちの魅力づくり対策特別委員会	第3回定例会1日目 議会運営委員会 第3回定例会2日目 議会運営委員会 第3回定例会3日目 議会運営委員会 第3回定例会4日目 決算審査特別委員会 全員協議会 まちの魅力づくり対策特別委員会	議会 東京都後期高齢者医療広域連合議会臨時会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会

● 主な内容 ●

可決された案件 ……2面
 平成28年度決算審査 ……3面
 一般質問 ……4~6面
 委員会の審査 ……7面
 特別委員会活動 ……8面

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▼賛成多数

予算総額にそれぞれ14億8945万1千円を追加し、264億3131万6千円とするもの。

▼平成29年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成28年度福生市国民健康保険特別会計の決算認定に伴い、繰越金及び療養給付費等負担金等の精算を実施するに当たり、歳入歳出予算を補正する必要が生じたことから、歳入歳出予算総額にそれぞれ4億6924万2千円を追加し、84億8681万1千円とするもの。

◎福生市市道における道路標識の寸法に関する条例の一部を改正する条例

道路標識、区画線及び道路標示に関する命令に、新たに高速道路に関する標識が追加され、標識番号が改正されたため、この標識番号を引用する道路標識の番号の規定を改めるもの。

◎福生市営住宅条例の一部を改正する条例

子育て世帯に対する支援の拡大を図るため、特に居住の安定を図る必要がある入居者の範囲を改めるとともに、公営住宅法施行令及び同法施行規則の一部改正に伴い、引用する規定を整理するもの。

▼平成29年度福生市一般会計補正予算(第3号)

保育所運営事業及び新扶桑会館整備事業の増額、平成28年度の国庫支出金の精算及び決算剰余金の積立などを実施するに当たり、歳入歳出予算を補正し、併せて、債務負担行為を補正する必要が生じたことから、歳入歳出

予算総額にそれぞれ14億8945万1千円を追加し、264億3131万6千円とするもの。

ら、繰越明許費を設定し、平成30年度の台風の時期の前までに竣工させようとするもので、残りは、基金へ積み立てようとするもの。

歳入歳出予算総額にそれぞれ1億6680万7千円を追加し、18億2564万1千円とするもの。

▼平成28年度福生市一般会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正7回を行い、歳入歳出266億5641万1千円で、前年度比9.3%増。歳入決算は266億8946万3569円で、収入率100.1%、前年度比6.2%増。歳出決算は255億7651万8126円で、執行率95.9%、前年度比8.5%増。歳入歳出差引額は1億1294万5443円。



▲改修が予定されている多摩川中央公園

▼平成28年度福生市一般会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を行い、歳入歳出11億3932万円。歳入決算は11億3648万2873円で、収入率99.8%、前年度比5.9%増。歳出決算は11億1948万8377円で、執行率98.3%、前年度比6.3%増。歳入歳出差引額は1700万2036円。

◎平成28年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を行い、歳入歳出11億3932万円。歳入決算は11億3648万2873円で、収入率99.8%、前年度比5.9%増。歳出決算は11億1948万8377円で、執行率98.3%、前年度比6.3%増。歳入歳出差引額は1700万2036円。

▼平成28年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を行い、歳入歳出82億4262万5千

円。歳入決算は82億5592万7561円で、収入率100.2%、前年度比0.7%減。歳出決算は77億668万4582円で、執行率94.2%、前年度比3.1%減。歳入歳出差引額は4億8924万2979円。

平成28年度福生市介護保険特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を行い、歳入歳出41億892万1千円。歳入決算は39億9150万6832円で、収入率97.1%、前年度比3.0%増。歳出決算は38億947万4977円で、執行率92.7%、前年度比2.6%増。歳入歳出差引額は1億8203万1855円。

◎福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について

加藤孝子氏の任期満了に伴い、引き続き委員として再任することに同意するもの。

◎福生市教育委員会委員の任命について

竹田良昭氏及び加藤眞司氏の任期満了に伴い、引き続き委員として再任することに同意するもの。

◎人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について

石川好男氏の任期満了に伴い、引き続き委員として推薦することに異議がない旨を答申するもの。

◎平成28年度福生市下水道事業会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を行い、歳入

歳出82億4262万5千円。歳入決算は17億2685万1101円で、収入率93.4%、前年度比6.2%減。歳出決算は15億3004万4538円で、執行率82.8%、前年度比5.3%減。歳入歳出差引額は1億9680万6563円。

討論

●平成28年度福生市一般会計決算認定について

■反対

横田基地については、財政面でも市民の安全を守る上でも基地のない福生市を目指すべきである。また、子育て施策では、子育て世代の人口減少は緩和しておらず、住宅支援策の充実、学校給食費の無償化、就学援助費支給基準の改善、駅前自転車駐輪場の無料化、だれでも乗れる循環バスなど、子育て世代へのより幅広い支援策が必要である。また、地域振興では、市内業者の受注拡大や公契約条例制定に向けた取り組みがなかった。また、ふっさ子育てまるとくカードを市民、業者、行政が一体で取り組む地域振興事業として改善する検討がなかった。

原発に依存しないまちづくりでは、CO2排出50%削減の目標を達成するためには、市民ぐるみで自然エネルギーの地産地消が必要だが、その取り組みがなかった。最後に、教育分野では、学校給食費の公会計化に向けて取り組むとの表明がなかった。

以上のことから、本決算に反対する。

●賛成

今年度の決算審査では、繰越金及び基金の積み立

てなど、後世負担軽減が図られている。

また、歳出では、交流人口増、定住化施策の推進としては、市の優れた施策や魅力を、プロモーションビデオやアニメで発信する市職員全員が一丸となった「攻めの広報」も確認できた。

さらに、発生主義・複式簿記に基づく日々仕分けによる「新公会計制度での初めての決算審査」は、財政の見える化を促進し、事業におけるPDCAサイクル構築のみならず、職員のコスト意識、スキルの向上に寄与したことも確認できた。

また、教育分野では、英検福生モデルの実施、ALTの全中学校配置や小学校への巡回指導など、国際社会で活躍できる人材育成を見据えた事業等の取り組みが確認できた。以上のことから、本決算に賛成する。

陳情

各委員会で審査され、採択された陳情は次のとおりです。

◆採択

○骨髄移植ドナー支援制度策定に関する陳情書(29-4号)



新公会計制度移行後、初めての決算のもと審査が行われた。

今年度には実施された主な事業を見ると、防災食育センター整備事業、もくせい会館建設事業などの資本形成に寄与する大規模事業が開始され、福生駅周辺のまちづくりにも資する市道整備事業が順調に進捗した。

また、定住化施策の柱の一つである子育て支援施設では、杉の子第三保育園園舎建て替えにより待機児童解消が進んだ。

また、教育では、第四小学校にコミュニティ・スクール制度が導入された。これにより、開かれた学校づくりへ大きな一歩が踏み出されたことは、教育によるまちづくりに大きく貢献するものである。その他、教育立市を掲げる市長の思いと「子ども一人ひとりを真に大切にしたい学校教育を推進する」という教育長の強い信念が事業の随所に見られた。

以上のことから、本決算に賛成である。

●平成29年度福生市一般会計補正予算(第3号)

●平成29年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

今年度、歳入においては、財源確保に向け全庁的な取り組みが見られ、結果、適正な事業執行で

繰越金及び基金の積み立

てなど、後世負担軽減が図られている。

平成28年度決算の概要

新公会計制度による初めての一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算では、財務諸表、貸借対照表などを盛り込んだ決算説明書を主に、各部ごとに審査を実施しました。

審査方法については、本会議において17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託・審査されました。また、4つの特別会計決算については、建設環境委員会、市民厚生委員会に付託・審査され、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

決算の特徴点について

問 新公会計制度の視点から見た決算の特徴について伺う。

答 貸借対照表では、流動資産が比較的多い一方で負債は少なく、将来になるべく負担を残さない財政運営を続けた成果が表れている。キャッシュ・フロー計算書では、財源確保に努めつつ行政支出を抑え、将来に備えて基金を積み立てた結果が表れている。このように、借入金に依存しない財政運営や経費節減の努力等、これまで言葉で説明していた取り組みが財務諸表で見える化ができた。経年比較や近隣との比較が可能になれば、より詳細な分析や有効活用が可能となる。

まちの魅力PR動画について

問 PR動画「What's UP Fussa(ワッツアップ フッサ)」は高い再生回数を記録した。実感した効果と、今後の課題等を伺う。

答 テレビや新聞などマスコミに多く取り上げられたことで、大勢の方に見ていただくきっかけができた。メディア露出による広告換算費は約4200万円。今後の課題だが、PRを継続していくこと、財源の確保などである。

福生駅西口駐車場について

問 福生駅から一、二分のところ民間の有料自転車駐車場ができており、

福生駅西口自転車駐車場は本来に必要なのかという声が地域から出ている。必要性や、公園など多目的な利用について、28年度は何か検討したのかについて伺う。

答 民間の自転車駐車場を利用されている方も多くいるが、28年度についてはこれまでの方針どおりでやっており、検討はしていない。

所有者不明の固定資産について

問 28年度に所有者不明となった固定資産は何件か。内容と併せて伺う。

答 通常、所有者の死亡が判明した段階で相続人が代表者指定届の提出を依頼し、相続登記の手続きを経て新所有者へ課税する。届けがない場合は相続人を戸籍調査等で探し、相続人代表者の指定を行うが、相続人が存在しない場合や、相続人全員が相続放棄すると相続人不存在で所有者不明となる。28年度の所有者不明案件は4件で、相続人全員が相続放棄したことによる。

多摩地域観光資源広域活用協議会負担金について

問 負担金支払いの根拠と、団体の概要を伺う。

答 負担金額は、市長会の補助金の上限が500万円であることによるもの。協議会は、酒蔵があるあきる野市、青梅市、

シルバー人材センター支援事業について

問 仕事をしたくても、なかなか紹介してもらえない状況である。派遣や職業紹介も考えるべきではないか。内容と併せて伺う。

答 就業形態の見直しによる多様な就業機会の提供については、28年度から就業拡大の一環として取り組んでいる。従来の請負契約では対応できなかった発注者の直接命令による作業や、発注者の従業員と一緒に働くことが可能となる労働者派遣事業を、東京しごと財団と連携して実施することとしPRに努めたが、契約締結には至らなかった。

プレイパーク事業の取り組みと成果について

問 取り組みと成果、子供の居場所としての特徴は。参加者の声について伺う。

答 28年度より、市民主体の運営とした。1日プレイパークを7月と11月に実施し、多い時間帯で

7月は122人、11月は200人の来場があった。市民主体での会議開催や、新会員やボランティア、協力事業者等の増加も成果である。特徴は子供が自然と触れ合い自由な発想で遊ぶ場であるが、1日のみのイベント型では限界がある。また、参加者アンケートでは評価する声があった。

住宅建替促進事業について

問 28年度の助成状況や事業内容について伺う。

答 28年度は交付内定申請まで進んだ戸建て空き家が4件。助成金交付は過年度申請分も含め戸建

こども教室の効果について

問 28年度から設置されたが、その効果について伺う。

答 言語障害に対する専門的支援の必要な児童に

英語教育の成果について

問 成果が出ているように見えるが、生徒の状況について伺う。

答 28年度より福生市英語教育推進計画に基づき

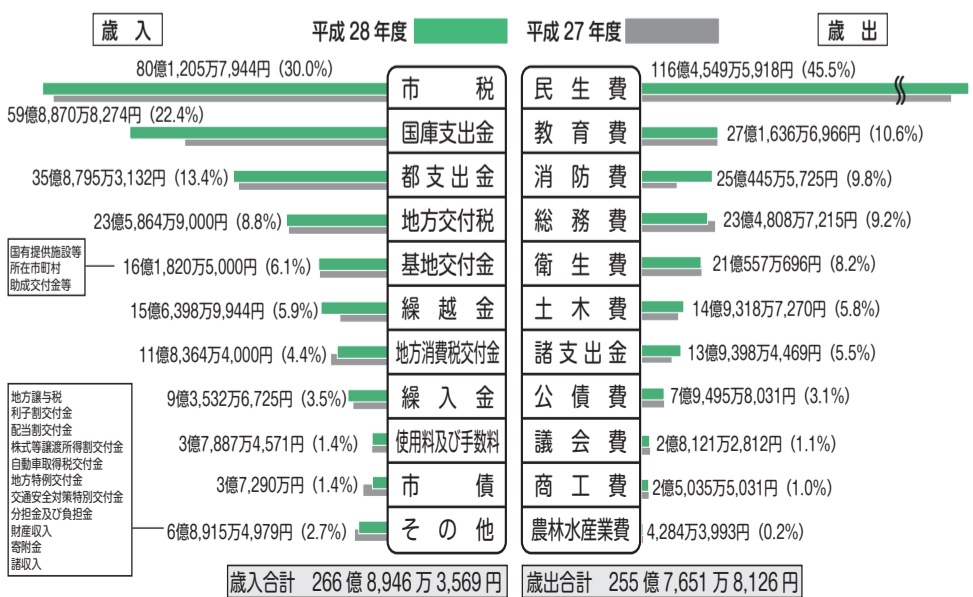


▲平成28年度一般会計決算を起立採決で認定

平成28年度 各会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額 (翌年度繰越額)
一般会計	266億8,946万3,569円	255億7,651万8,126円	11億1,294万5,443円
特別会計			
国民健康保険特別会計	82億5,592万7,561円	77億6,668万4,582円	4億8,924万2,979円
介護保険特別会計	39億9,150万6,832円	38億947万4,977円	1億8,203万1,855円
後期高齢者医療特別会計	11億3,648万2,873円	11億1,948万837円	1,700万2,036円
下水道事業会計	17億2,685万1,101円	15億3,004万4,538円	1億9,680万6,563円
総合計	418億23万1,936円	398億220万3,060円	19億9,802万8,876円

平成28年度 一般会計決算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合



一般質問 (要旨)

市政のここを問う

今定例会では、14名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

要旨は一問とし4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページに全て掲載してあります。

詳しくは、11月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー、図書館または福生市ホームページからご覧ください。

西多摩で唯一のオープンデータ公開について 乙津 豊彦 議員

質問 オープンデータに対する考え方と、公開に至った経緯を伺う。

市長 オープンデータは、インターネットが普及した情報化社会におけるいわば社会ニーズであり、国の方針もあり、今後、ますます推進されると考える。オープンデータを公開することで、情報公開に加え、透明性、信頼性の向上、国民参加、官民協働の推進及び経済の活性化、行政の効率化が期待される。本市では、平成28年9月からオープンデータの公開を始めた。今後は公開するデー

タの範囲を拡大し、2次利用がしやすいデータ形式を増やしていく。



▲福生市ホームページに掲載されているオープンデータの情報

産業道路の多摩橋通り以南の延伸計画について 末次 和夫 議員

質問 この延伸計画は、多摩橋通りを交差し、福生第三小学校、福生第一中学校近くを通り、熊川駅近くの新奥多摩街道へ繋がる計画道路で、昭和36年に都市計画決定されたが、現在凍結状態のような形になっている。今後の見通しを伺いたい。

市長 「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針」策定のため、都と区市町による検討会が設置され、拡幅整備の有効性の精査や既存道路による代替の可能性、整備の課題等を検討中。この延伸計画

についても、方向性が見えれば議会に報告する。



▲多摩橋通り付近の道路の様子

ふっさっ子グローバルヴィレッジについて 清水 義朋 議員

質問 今年度の本事業は一段落したところだが、ここに至った経緯や活動内容等、状況を改めて伺う。

教育長 以前の青少年海外派遣事業は社会情勢の変化による不安により中止することとした。また、経費面も考慮し、新事業では、対象者の範囲を拡大して日本国内で実施するものとした。内容は、埼玉県内の施設で3泊4日、小学生19名、中学生18名が参加し、英語環境で外国人スタッフからの指導を受け、各種イベントで交流した。第1回目の本事業

は、世界に視野を広げるきっかけとなったものと考えている。



▲7月に実施されたふっさっ子グローバルヴィレッジの様子

平和のつどいについて 田村 正秋 議員

質問 今年度も開催された平和のつどいについて、事業の目的、実施状況、成果を伺う。

市長 今回は8月13日に開催した。戦争の悲惨さ、平和の尊さを忘れぬよう、経験、体験を共有し、平和についての啓発が趣旨で「絶対に戦争は繰り返してはいけない」と改めて確認する日である。今回は30回の節目であり、市内在住の鈴木利二氏の講演のほか、本市出身のジャズシンガー、ダイナマイト・ミ キ氏とサンサンシンガーズを招き、多くの方が来場し、

好評だった。また、平和関連各事業と連携し、PRを強化した。



▲8月に開催された平和のつどいの様子

教員の働き方改善について 原田 剛 議員

質問 公務全般に対する意識改革、働き方改善が重要だが、勤務実態の状況と働き方改善をどう考えるか。

教育長 本市各学校では校長の経営方針に基づき、教員は職務に真摯に向き合っている。時間外労働や休日出勤等、長時間に及ぶことも少なくなく、勤務状況は多種多様であり、職務の線引きが難しい。今が、働き方の改善の千載一遇のチャンスだ。学校教育の更なる質の確保・向上を目指し、校内の組織体制を一層強化し、教職員が心身ともに健康に、効

率的、効果的な視点で教育活動が行えるよう、働き方の改善を進める。



公園照明灯の災害時における活用について 幡垣 正生 議員

質問 市内で災害時に活用できるよう、特に一時避難場所・広域避難場所等の各公園にソーラー充電式LED照明灯の設置を考えているのか。

市長 公園の大きな役割の一つが防災面での役割だ。市内15公園が一時避難場所に、多摩川河川敷の4公園が広域避難場所に指定されている。ソーラー充電式LED照明灯をこれらの公園に設置する必要性は認識している。初期コストやランニングコスト等を検討して効果を検証し、効果があれば標準的な仕様を検討し、

照明灯の修繕や改修時にソーラー充電式LED照明灯の設置に取り組む。



▲福生市防災食育センターに設置されているソーラー充電式LED照明灯

福生駅周辺の安全安心について 佐藤 弘治 議員

質問 安全安心まちづくり協議会が重要な機関として設置されている。福生駅東口飲食店街の現状を鑑み、防犯のための組織の設置、あるいは組織づくりに向けての議論を進めていただくことはできないか。

総務部長 協議会は、市長の諮問に対する答申や、施策に対して意見を述べることを主な役割としており、組織づくりそのものを行うことは、協議会の本来の趣旨にそぐわないものとするが、地域の安全安心にかかわる問題については、議題と

して取り上げ、協議会と相談しながら、積極的に対応したい。



▲福生駅東口での防犯パトロールの様子

特別な支援を要する子どもへの対応について

五十嵐 みさ 議員

質問 医療的ケア児等の支援と、その家族のレスパイト(息抜きや世話のお休み)等も含め市の所見を伺う。

市長 乳幼児経過観察健康診査等で、発育や発達を継続して診るべき子どもを支援している。発達支援事業「ばんだグループ」は子育て相談にも活用されている。また、新たに設置する子育て世代包括支援センターは、特別な支援を要する子どもの早期発見・支援へつなぐ。医療的ケア児が地域へ戻る際は、関係機関が情報共有等による連携を図る。受け入れ

ている市内保育園もある。家族のレスパイトは負担感軽減も課題である。



タイムライン(防災行動計画)について

青木 健 議員

質問 本市のタイムラインの策定経緯と概要、周知等について伺う。

市長 国土交通省では、国が管理する河川のタイムラインが必要と考え、京浜河川事務所と多摩川の隣接自治体との間でも、策定を進めてきた。本市のタイムラインは、京浜河川事務所が作成したものを基に、本市の地域防災計画における風水害時の活動体制を時系列でまとめたものだ。今後はこのタイムラインに沿って適正な避難情報等の発令に努め、改定中の地域防災計画にも明記し、

職員や市民にも周知する。京浜河川事務所とも平常時から連携を図る。



▲タイムライン(防災行動計画)の流れ(国土交通省ホームページより)

教職員の時間外労働の規制について

池田 公三 議員

質問 教職員の長時間労働が問題となっている。本市における学校労働安全衛生管理の現状と対応を伺う。

教育長 児童・生徒が明るく元気に学校生活を過ごすためには、教員の心身の健康が何よりも大切である。本市の小・中学校は教職員数が10人以上50人未満だったため、衛生推進者の選任と、時間外労働が月100時間超の者からの申し出により医師の面接指導を行うことができる体制を整備してきた。教職員が50名超の学校も出てきており、対応する時期に来

ているため、今後その対応について調整していく必要を認識している。



福生市公共サイン整備方針策定後の課題について

大野 聡 議員

質問 方針策定後の課題は。整備に当たってどのような障害があるか。

市長 公共サインは施設への的確な誘導等が目的で、対象施設の名称変更や移転、道路新設等の際は早急に表示内容の整合を図る必要がある。誘導サインの配置・設置は、経路間の場所の設定や設置範囲、整備経費等の制約から、整備方針どおり配置・設置できない場合もある。防災食育センター整備工事にあわせて誘導サイン設置を検討し、前述の事由により現時点では未整備だが、設置場所

等を調整し設置予定。定期的なメンテナンス等が今後の課題である。



▲福生市公共サイン整備方針(冊子)

連動信号機設置について

奥富 喜一 議員

質問 都道249号線(産業道路)の武蔵野台一丁目15番地付近の交差点への交通信号機設置について、28年1月、福生警察署長宛に要望書が提出されたが、その後の進捗状況は。

市長 周辺地域の方々から、歩行者の安全確保のため、交差点への交通信号機設置の要請を受けたことから、福生警察署へ要望書を提出した。設置に係る進捗状況について、所管する福生警察署へ確認したところ、8月7日に、警視庁交通管制課と福生警察署交通課が現地調査を行って

おり、現在、警視庁において審査中のことである。



▲都道249号線(産業道路)の様子

玉川上水・分水網の保全活用プロジェクトについて

堀 雄一朗 議員

質問 本市は景観・観光資源でもある玉川上水の史跡を有している。自然・歴史文化等の情報共有や2020年を意識した動き等をどう捉えるか。

市長 玉川上水は、本市を代表する水の眺望である。世界遺産や未来遺産への登録を目指す活動成果として、玉川上水ネットの「玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト」が、「プロジェクト未来遺産2016」に指定された。東京水循環の再生の提言等を含め市民団体の自主的な活動だが、玉川上水・分水網が再評価され、

更なる保全・活用につながる可能性があり、本市として動向を注視する。



▲景観・観光資源である玉川上水

次回定例会のお知らせ ◎傍聴におでかけください。

平成29年第4回定例会は、12月5日(火)から12月22日(金)までを予定しています。

◆本会議(予定)午前10時開会 12月5日(火)~8日(金)及び22日(金)

◆常任委員会(予定)午前10時開会 12月12日(火)~14日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリンググループを導入しています。(旧名称「磁気ループ」は、磁気という言葉がペースメーカー等に悪影響を及ぼす、と誤解されがちなこと等により、新名称「ヒアリンググループ」に改称されました。)

平成29年第3回定例会本会議の傍聴者数等

・傍聴者数 延べ80人

・インターネット議会中継閲覧数 (9月5日~9月28日) 延べ125件

高齢者住宅事業の今後の見通しについて

三原 智子 議員

質問 福生市総合計画第4期修正後期基本計画を踏まえ、高齢者住宅事業を今後どのように進めるのか。

市長 更なる高齢化社会に備え、自力では適切な住宅確保が困難な高齢者世帯に対し、市営住宅の一部を高齢者専用とすることで、セーフティネット機能を維持することが重要だ。借上契約が順次満了となる市営借上高齢者住宅は、施設の状況にもよるが、高齢者が安心して生活できる住宅の安定確保のため、10年程度の契約更新を行いたい。本市が建設

した高齢者住宅も適正な管理を行い、高齢者世帯向け住宅戸数を維持する。



▲シルバーピア熊川の外観

平成29年 第3回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式（一括と一問一答の併用）の
選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 清水 義朋 (一括)	1 横田基地について (1)再編交付金に代わる財源確保について (2)V-22 オスプレイについて (3)地域貢献について 2 新学習指導要領について (1)新学習指導要領の改訂のポイントについて (2)市の教育への対応について 3 ふっさっ子グローバルヴィレッジについて	⑧ 青木 健 (併用)	1 防災行政について (1)タイムライン(防災行動計画)について (2)自助・共助の向上について (3)災害対応におけるSNSの活用について (4)ドローンの活用について (5)防災キャビネットの設置について (6)災害救援ベンダー(自動販売機)について
② 原田 剛 (併用)	1 行政改革について (1)目標について (2)行政改革の推進について 2 教員の働き方改善について (1)教員勤務実態について (2)外部人材の活用について 3 児童・生徒の健康について (1)健康診断について (2)健康診断項目について 4 ふっさっ子グローバルヴィレッジについて	⑨ 大野 聡 (一括)	1 指定管理者制度について (1)指定管理者制度の現状と課題について (2)制度導入後の効果について (3)毎年度の評価の状況について (4)今後の対応について 2 福生市公共サイン整備方針について (1)方針策定後の状況と実績について (2)方針策定後の課題等について (3)今後の方針等について
③ 佐藤 弘治 (一括)	1 安全安心まちづくり行政について (1)福生市安全安心まちづくり推進計画について (2)福生市安全安心まちづくり協議会について (3)福生駅周辺の安全安心について 2 子ども・子育て支援について (1)切れ目のない子育て支援について (2)子育て世代包括支援センター事業について 3 行政課題と組織体制について (1)行政課題に的確に対応できる体制の構築について (2)人材育成の推進と任用制度について	⑩ 堀 雄一郎 (併用)	1 民泊について 2 ランニングコースの紹介と案内について 3 玉川上水について (1)「玉川上水・分水網の保全活用プロジェクトの未来遺産登録」について (2)玉川上水沿いの遊歩道整備等について 4 地域包括ケアの推進について
④ 乙津 豊彦 (併用)	1 オープンデータについて (1)オープンデータに対する国及び自治体の動向について (2)西多摩で唯一公開している当市のオープンデータに対する考え方等について	⑪ 三原 智子 (一問一答)	1 高齢者住宅事業について (1)現在の状況について (2)生活協力員について (3)今後の見通しについて 2 ふっさっ子の広場事業について (1)事業開始から10年を振り返っての成果と課題について 3 新入生の入学準備について
⑤ 末次 和夫 (一問一答)	1 福生都市計画道路3・4・2号志茂中央線(多摩橋通り)及び福生都市計画道路3・3・30号武蔵野工業線(産業道路)について (1)両路線整備の進捗状況について (2)産業道路の延伸に伴う市道等の雨水処理対策について (3)産業道路の多摩橋通り以南の延伸計画について 2 「福生市の歌」について (1)制定の経緯及び現在の歌唱状況(市内小学校・中学校を含む)について (2)市民への周知について	⑫ 五十嵐 みさ (一問一答)	1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援について (1)子育て世代包括支援センターについて (2)特別な支援を要する子どもへの対応について (3)育児と介護のダブルケアについて 2 各種組織や団体との協定や覚書等の様々な連携について (1)主な協定や覚書等について (2)今後の取り組みについて 3 終活支援(エンディングサポート)について (1)消費者セミナーでの取り組みについて (2)身寄りのない方等への終活支援について
⑥ 田村 正秋 (一括)	1 多文化共生と国際交流の推進について (1)現状と課題について 2 東京オリンピック・パラリンピック入賞メダル製作の取り組みについて (1)みんなのメダルプロジェクトについて 3 平和事業について (1)平和のつどいについて (2)当市の取り組みについて	⑬ 池田 公三 (一問一答)	1 福生市の財政状況について 2 福生市の人口減少の特徴と対策について 3 学校における労働安全衛生管理体制について (1)教職員の時間外労働の規制について (2)産業医を選任すべき事業所(学校)について
⑦ 幡垣 正生 (併用)	1 市内公共施設等のソーラー充電式(LED)照明灯の設置について (1)公園照明灯のLED化の現状について (2)公園照明灯の災害時における活用について 2 家庭におけるLED普及事業について (1)LED省エネムーブメント促進事業の市内の状況について (2)本市におけるLED促進事業について 3 外来生物の現状と今後の課題について (1)外来生物(アライグマ、ハクビシン)防除事業について (2)ヒアリの対応について	⑭ 奥富 喜一 (一問一答)	1 横田基地について (1)戦闘機と大型給油機の飛来増加について (2)違法な住宅地上空の飛行訓練について (3)連続発生の機体不具合、部品遺失等について (4)オスプレイ配備撤回等について 2 国民健康保険の制度改革について 3 生活保護行政について 4 連動信号機設置について

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情の審査が9月20日、21日及び22日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

また、9月25日に横田基地対策特別委員会、9月8日及び25日にまちの魅力づくり対策特別委員会が行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設環境委員会

9月20日に委員会が開催され、5件の議案を審査し、原案のとおり可決・認定されました。

◇福生市営住宅条例の一部を改正する条例について

問 入居者の資格要件の緩和ということであるが、他市の状況はどうなっているのか。

答 30市町村中、福生市を含め9市2町が同様の内容を改正予定で、そのうち4市2町が9月議会での条例改正を予定している。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算(第3号)(建設環境委員会所管分)



▲無電柱化整備が予定されている本町通り

レンジ支援事業について、もう少し詳しく伺いたい。

答 無電柱化することによる効果は3点あり、本事業はこれらの効果を目指すものである。1点目は、地震などの大規模災害により、電柱等が倒壊することによる道路の閉塞を防止する。また、耐震性が向上することも期待できる。2点目は、道路

路上の構造物をなくすこととで通行空間の安全性、快適性を確保する。3点目は、景観の阻害となる電柱や電線をなくし、良好な景観を形成する。

◇平成29年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 フレンドシップパーク周辺の冠水状況はどうだったのか。

答 床下浸水が起こっており、早急に手当てをする必要があると判断している。

問 下水道事業積立金の目安について伺いたい。

答 長寿命化事業に必要な将来の更新事業費として16億円を目標としているが、今後は昭和の時代に整備した管渠の更新が予想されることや、雨水

市民厚生委員会

9月21日に委員会が開催され、6件の議案を審査し、原案のとおり可決・認定されました。また、1件の陳情が採択となりました。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算(第3号)(市民厚生委員会所管分)

問 保育所運営事業、認定こども園施設型給付事業、地域型保育給付事業の増額についての理由は、

答 保育園の定員と児童の年齢ごとに定められた公定価格が、平成29年度予算策定後に決定、新たな処遇改善加算も盛り込まれたことによる。

問 学童クラブ委託料増額で行われた指導員増員の内容及び今後の児童の受け入れの見通しは。

答 さくらクラブと臨時第2たんぼクラブで増

員した。定員を超過しており、厳しい状況である。

◇平成29年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 前年度繰越金の額が大きくなった理由は、

答 国・都からの交付金が予算より約2億800万円多く、保険給付費が約7500万円少なかったことが主な要因である。

◇平成29年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 介護給付費準備基金の状況は。

答 平成28年度の剰余金1億6027万6千円を基金へ積み立て、基金残高は4億470万9056円となる。

◇平成28年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問 保険税の収納率向上への取り組みは。

答 財産調査の強化を図り、下半期からは催告書の運用を見直し段階を追って文面と封筒の色合いを変えていく工夫や、夜間臨戸の強化を行った。

問 国民健康保険加入世帯数減少の理由は、

答 被用者保険適用拡大の影響と見ている。

問 その他一般会計繰入金金の被保険者1人当たり金額と他市との比較はどうか。

答 被保険者1人当たりの金額と順位は、福生市4万988円で26市中4

位、26位は小金井市の1万1657円であった。

問 後発医薬品利用差額通知事務費の増の要因は、

答 通知回数が増え、差額通知の調剤の対象範囲を拡大したことが主な要因である。

◇平成28年度福生市介護保険特別会計決算認定について

問 一般介護予防施設事業の複合型介護予防教室及び地域介護予防活動支援事業の成果について。

答 元気はつらつ教室を市内4箇所で行い、介護予防に役立つ必要な基礎知識の講話、筋力向上の要素を入れた体操、口腔機能向上、低栄養予防に

関する演習、実技指導、脳トレ体操などを実施した。地域介護予防活動支援事業は、町会や老人クラブ、小地域福祉活動などの場に運動指導員を派遣する介護予防に大変効果のある事業である。

◇平成28年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

問 コンビニエンスストア収納の利用状況は。

答 納付書による納付は限られているが、利便性の充実も本事業開始の目的の一つと考えている。今後周知が行き渡ることで、利用率は上がっていくものと分析している。

◇骨髄移植ドナー支援制度策定に関する陳情書

ドナーを支援し負担軽減するためにも、採択したいとの意見があり、全会一致で採択となりました。

問 新扶桑会館の変更による工事スケジュール、現扶桑会館解体スケジュール及び市民への影響は。

答 新扶桑会館は平成31年3月に完成予定。現扶桑会館については平成31年秋頃から現消防署に合

わせて解体するので利用者への影響はない。

問 再編交付金後の財源確保について経過は。

答 市長自らも先頭にた



▲骨髄バンクドナー登録のしおり

総務文教委員会

9月22日に委員会が開催され、1件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算(第3号)(総務文教委員会所管分)

問 第三小学校にある第一給食センター解体後の跡地活用に関する考えは。

答 教室の増築を考えているが、いろいろな活用ができるかと考えている。

問 第二給食センター解体事業への補助金、及びふるさと人づくりまちづくり寄附者の内訳は。

答 来年度の補助金に関しては全く未定、寄附者5件の内訳は個人で市内が1人、市外が1人、法人は3件でいずれも市外である。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め6回開催されました。



▲解体が予定されている第一給食センター

問 新扶桑会館整備事業

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」により、議会だよりの音訳をディジー方式のCDにして、視覚障害者（1・2級）の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたらご連絡ください。専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者1割負担）

議会事務局 ☎042-551-1523

ご利用くださいインターネット議会中継

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

- ◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
- ◆アクセス方法

福生市公式ホームページ（<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>）にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでは本会議の生中継を放映しています。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

特別委員会活動から…

まちの魅力づくり対策特別委員会

9月8日及び25日に委員会が開催されました。

8日は、25日の委員会への参考人の出席及び委員外議員の出席について協議し、異議ない旨確認しました。

また、25日は、参考人として、観光関連の有識者である㈱リクルートライフスタイルの川波佑吉氏と森ビル㈱の矢部俊男氏及び松本瑠里子氏より、観光行政等について専門的な意見を伺いました。

川波氏から「観光マーケットの現状と福生市に求められる観光推進」について説明を受けました。

1 観光データからみる消費者の動向のニーズについて

旅行の実施率と平均回数、性別と年代別実施率、現地支出及び宿泊旅行の目的等について。

2 福生市に求められる観光推進について

消費者視点での現状把握として、観光ポイントの地域側の視点と観光客の興味・関心度の調整、観光体験等による消費ストリームの創造、福生市

の持っているポテンシャルとして地元酒蔵とおいしい水をコラボした観光資源の活用等について。

また、次のような質疑がありました。

問 米軍基地と関連した消費ストリーとは。

答 例えば、子どもたちにネイティブな英語に接する体験のストーリー。



▲観光行政等について有識者の意見を聞いている様子

次に、矢部氏より「福生市の魅力発信に向けた取り組み及びご提案」について説明を受けました。

1 平成28年度制作のアニメーション動画「Tokyo Sake Brewery」の制作・配信成果について

3 週間でフェイスブックで約45万回、ユーチューブで約11万回視聴され、マスメディアにも126件扱われ、市の認知及びイメージの向上が

図られた。

2 今年度の福生市商工会によるアニメーションPR動画について

物語性のある「和」と「洋」の文化が同居する市の魅力発信で、交流人口や定住化増加を目指す。

3 今後の福生市の魅力づくりについて

オンリーワンの魅力づくりの推進。
・米軍ハウス、ユニークな店舗やライブハウス
・福生市ならではの「創作・工房文化」によるクリエイティブなまちとして、新たな「アートビレッジ」の魅力発信。

また、次のような質疑がありました。

問 交流人口を増やす一策は。

答 例えば、多摩川河川敷にしゃれたサイクルカフェをつくる。

その後、参考人の意見に対する感想や今後の委員会の進め方について協議しました。

横田基地対策特別委員会

9月25日に委員会が開催され、3件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1 横田基地日米友好祭について

9月16日（土）及び17日（日）に開催された友好祭について、次のような報告がありました。

① 入場者数は、天候の影響もあり7万5千人で、昨年の13万5千人を下回った。

② 航空機地上展示や特設ステージでのバンド演奏、航空自衛隊イベント等が行われ、花火は中止となった。

③ 市の対応は、横田基地に対し、友好祭における安全確保等について要請を行うとともに、市ホームページで来場者利用駅の案内について掲載された。

2 横田基地に関する情報について
6月19日から9月29日までの報告がありました。主な内容は次のとおりです。

① 6月26日に横田基地内で不発弾が発見されたが、爆弾処理班が処理し、基地外への影響はなかった。

② 6月30日の米国独立記念日祝賀行事において、基地内で花火が打ち上げられた。

③ 横田基地所属輸送機等の部品遺失等があったため、東京都と基地周辺5市1町から米軍等に対し、原因究明や安全確保の徹底等について要請を行った。

④ 人員降下訓練が7月と9月に行われた。

⑤ 横田基地有志によるボランティア活動で、公園清掃が行われた。

⑥ 7月29日と8月21日にオスプレイが横田基地に飛来した。

⑦ 横田基地内で平成29年3月1日から平成30年7月30日までの予定で夜間工事が行われていると、国からの情報提供を受け、基地周辺5市1町から米軍等に対して、基地外への影響を最小限に抑えるよう要請を行った。

⑧ 8月20日午後、米海兵隊のヘリコプターが横田基地周辺を飛行し騒音に関する苦情が2件寄せられた。

⑨ 8月29日に横田基地内で航空自衛隊によるPAC-3機動展開訓練が行われた。

3 国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について
総務省に対して要請行動を行うことについて、委員会として要望事項等を協議しました。



▲総務省への要請文

編集後記

今年は、8月から天候が安定せず、長雨や時を同じく来襲した台風の影響などが報じられました。このことは身近なところで食材の高騰など気になるニュースとなり、秋の味覚の変化も感じられた方が多かったのではと思われまます。

さて9月議会では、平成28年度の決算審査が行われ、26市で初めてとなる決算説明書（新公会計制度）による審査が行われました。今までの決算書での審査とは違った角度で見ると福生市の財政の状況や、事業ごとの決算の審査となり、資料等では分かりやすい面も出てきました。初めてのことであり難しさも感じられました。

北朝鮮の度重なるミサイル発射について、6月に引き続き抗議しましたが、世界の恒久平和を願う人々の気持ちを踏みにじるもので決して許されるものではありません。引き続き国際社会と連携・協力して、毅然たる態度で外交努力を続けることを求めています。市議会の傍聴では様々な団体の方も議場に見えられます。ぜひ、傍聴にお越しください。